

# 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動報告書2020



# INDEX

---

■ 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて	2
■ 名大カフェ “Science , and Me”	3
■ ASF2020 サイエンストーク	5
■ ASF2020 その他 名古屋大学ミニ・オープンレクチャー 2020	7
■ あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク連携事業	8
■ 名古屋大学オープンレクチャー 2021	9
■ 名大研究フロントライン	11
■ Tongali (とんがり) プロジェクト	13
■ キッズサイエンス@サカエ	15
■ 国際産学連携セミナー、シンポジウム等、展示会への出展実績	16

## 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部では、本学の研究成果発信と市民との対話を目的としたアウトリーチ活動を実施しています。本学では多くの部局・部署が公開講座や講演会等を実施していますが、学術研究・産学官連携推進本部では、部局を横断した研究の成果発信や、国内外や地域の諸機関、企業との連携に力を入れています。

今年度はコロナ禍で始まり、その収束を見ないまま、終わろうとしています。社会、経済、教育、ライフスタイルなど、あらゆる側面が変化した2020年は、社会システムの大きな転換点として、後々にも強く記憶される1年となることでしょう。

学術研究・産学官連携推進本部のアウトリーチ活動の在り方も、この1年で大きく変わりました。以前は当たり前の形態であった対面形式でのイベント開催に代わり、オンラインでの情報発信へと、大胆に舵を切りました。

まず着手したのは、本学の研究を紹介する動画「名大研究フロントライン」です。URAが動画編集技術を習得し、企画から公開までをスピーディーに対応する態勢を整えました。

また、6月からは各種のアウトリーチイベントをオンライン開催で再開しました。当初は対面形式に代わる「苦肉の策」であり、平常に戻るまでの「当座の凌ぎ」という意識もありました。しかし、遠方にお住まいの方も含めてより多くの方に参加いただけるオンライン開催のメリットは大きく、コロナ収束後も重要なアウトリーチ形態として継続していくことになりそうです。

さて、2021年度はどんな1年になるのでしょうか。これからも社会の変化に柔軟に対応しながら、本学の研究活動の情報発信に努めていきたいと思えます。

2021年3月



名古屋大学副総長／  
学術研究・産学官連携推進本部長  
佐宗章弘

# 名大カフェ “Science, and Me”

## SCIENCE, AND SM<sub>E</sub>



### 第 75 回「対話ロボットを通じて人を知る」

2020年6月25日(木) 19:00～20:00

ゲスト：小川 浩平（名古屋大学大学院工学研究科 准教授）

方法：オンライン（Youtube ライブにて配信）

ロボット（アンドロイド）の存在を通じて、「人間の対話とは何か」、「そもそも人間とは何か」を考える研究について紹介しました。ロボットと人間の想像力を掛け合わせることで生まれる可能性に、わくわくするトークが展開されました。



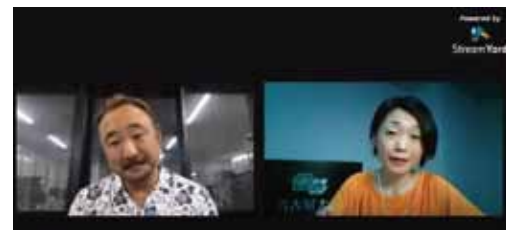
### 第 76 回「コロナ禍が変えるモビリティの価値」

2020年8月25日(火) 19:00～20:00

ゲスト：島崎 敢（名古屋大学未来社会創造機構 特任准教授）

方法：オンライン（Youtube ライブにて配信）

移動しなくても仕事や余暇を楽しめることに気づいたコロナ禍社会。これからの「移動」の意味や価値は、従来とは大きく違うものになるでしょう。移動が「本源需要」となるために、移動の間に得られる経験が重要であることが提案されました。



### 第 77 回 ASF サイエンストーク「ヒトと共存できるウイルスと、共存できないウイルス」

2020年10月29日(木) 19:00～20:00

ゲスト：佐藤 好隆（名古屋大学大学院医学系研究科 講師）

方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

ウイルスとは何か、PCR 検査の手順、感染経路などについて解説した上で、ウイルスは生態系の一部であり人間と共存してきた歴史や「感染享受」もあることなど、人間とウイルスの関係を新しい視点で問う「ネオウイルス学」について紹介しました。



# 名大カフェ “Science, and Me”

「名大カフェ "Science, and Me "」がリニューアル！  
名大期待の若手研究者をゲストに、「研究」というフィールド  
から見える世界や感動、異分野とのコラボレーションへの期待  
などを、MC とのトーク形式で語ります。

主催：サカイ大学 Common-S.（運営：松坂屋名古屋店）  
協力：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



## 第 78 回「ポンペイと古代ローマ庭園」

2020年12月17日（木）19:00～20:00

ゲスト：川本 悠紀子（名古屋大学大学院人文学研究科 准教授）

方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

文献史料研究にとどまらず、考古学や自然科学分析等、様々な分野の知見を結集することで明らかになる古代庭園の姿についてお話ししました。今後の研究によって、まだ知られざるポンペイの歴史がわかるのではと、期待が膨らみました。



## 第 79 回「生中継！ ようこそ名古屋大学博物館へ ～学生と共に創る、新しい博物館のかたち～」

2021年3月4日（木）19:00～20:00

ゲスト：梅村 綾子（名古屋大学博物館 研究員）

方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

名大博物館内から中継しました。講師と学生団体「MusaForum」のメンバーによる展示物の紹介や、地域の人々に身近な博物館づくりのための活動紹介や座談会がありました。学生教育の面でも有意義な活動で、講師と学生たちの信頼関係を感じることができました。





## あいちサイエンスフェスティバル2020

# ScienceTalk

サイエンストーク

市民と専門家との対話イベント

### 「電気は空へ～電動バイクや電動航空機、宇宙用ロケットや月面探査車の最前線～」

2020年9月29日(火) 19:00～20:00

ゲスト：山本 真義 (名古屋大学未来材料・システム研究所 教授)

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

これからの時代の電力供給の核心的な技術である電力変換器の小型軽量化について、電動航空機や月面探査車、ロケット搭載などの研究最前線を、名大の GaN パワーエレクトロニクス応用を中心に解説しました。



### 「安心して暮らせる社会を支える都市のカタチとは？～新型コロナウイルス対策も踏まえて～」

2020年10月5日(月) 19:00～20:00

ゲスト：加藤 博和 (名古屋大学大学院環境学研究科 教授)

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

環境、交通、防災、高齢化など社会は多くの課題を抱えています。そこで、賢く凝集する「コンパクトシティ」のコンセプトを学び、コロナ禍で変化した「おでかけ」の今後についても交通・都市計画の視点から考えました。



### 「樹木年輪からみた気候と環境の過去・現在・未来」

2020年10月9日(金) 19:00～20:00

ゲスト：中塚 武 (名古屋大学大学院環境学研究科 教授)

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

数十年周期で起こる大きな気候変動が、人間社会に大きな影響を与えることを、酸素同位体比を使った樹木年輪の分析と、歴史学・考古学の知見との文理融合研究の成果により、明らかにしました。



### 図書館サイエンス夜話 第1夜「オーロラと夜間大気光の科学」

2020年10月13日(火) 18:45～20:00

ゲスト：塩川 和夫 (名古屋大学宇宙地球環境研究所 教授)

主催：名古屋市鶴舞中央図書館

共催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

オーロラや夜間大気光のしくみだけでなく、宇宙空間にあるプラズマについてもお話いただきました。視聴者からの質問にも適宜答えながら進行了。また、講演会の最後に図書館司書による関連図書の紹介を行いました。





あいちサイエンスフェスティバルでは、平日夜にサイエンストークを開催しています。  
 はば広くサイエンスやものづくりの話題を取り上げた専門家との交流イベントです。

方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

### 「革新的次世代電池の研究開発」

2020年10月15日（木）19:00～20:00

ゲスト：入山 恭寿（名古屋大学大学院工学研究科 教授）

主 催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

リチウムイオン電池の高性能化研究の過程と、さらなる高性能化に向けた全固体電池の研究最前線について、課題と現状をお話しました。現代社会のエネルギー問題解決に向けて研究に取り組んでいるというお話も印象的でした。



### 「マスクの科学」

2020年10月27日（火）19:00～20:00

ゲスト：堀 克敏（名古屋大学大学院工学研究科 教授）

主 催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

布、不織布、ウレタン、プラスチック…どのタイプのマスクがウイルスから身を守るのに一番効果的なのか、科学的根拠を易しい説明で学びました。参加者からの質問を通し、マスク着用の意義を改めて考えました。



### 図書館サイエンス夜話 第2夜「巨大地震から地域を早期に復旧させるために考えておきたいこと」

2020年10月30日（金）18:45～20:00

ゲスト：新井 伸夫（名古屋大学減災連携研究センター 特任教授）

主 催：名古屋市鶴舞中央図書館

共 催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

先生考案の防災ゲームを行っている様子を見ながら、実際に災害が起きたときにどのように対応したらよいかを学びました。また、講演会の最後に図書館司書による関連図書の紹介を行いました。



### 「脳の発達の仕組みを遺伝子から紐解く」

2020年11月2日（月）19:00～20:00

ゲスト：辻村 啓太（名古屋大学高等研究院／理学研究科附属  
 ニューロサイエンス研究センター 特任講師・グループディレクター）

主 催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

脳神経回路の発達における遺伝子発現の仕組みや、発達障害などの原因となる遺伝子の変異に関する研究について紹介しました。発達障害の治療薬開発の基礎研究の最前線を知ることができました。







# あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク連携事業 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2020

主催：豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

## 「赤ちゃんを産む魚」

日時：2020年11月15日（日）14:30～16:00  
 講師：飯田 敦夫（名古屋大学大学院生命農学研究科 助教）  
 会場：豊橋市自然史博物館

卵ではなく、赤ちゃんを産む魚についてそのしくみを紹介しました。



## 「深海底の泥に記録された地球の歴史」

日時：2020年11月21日（日）14:30～16:00  
 講師：浅原 良浩（名古屋大学大学院環境学研究科 准教授）  
 会場：豊橋市自然史博物館

太平洋の深海底の泥に記録された地球の歴史について最新の研究成果を紹介しました。



## 「電気と磁石のふしぎ」

日時：2020年11月29日（日）11:00～12:00  
 講師：出口 和彦（名古屋大学大学院理学研究科 講師）  
 会場：豊橋市視聴覚教育センター

小学生から大人までを対象に、レクチャーと電磁石の実験を交えた授業を対面式で行いました。参加者が自分で考えながら行う実験で、どの参加者も試行錯誤をしながら熱心に取り組みました。



## 「植物に欠かせない気孔の大切な働き」

日時：2020年11月29日（日）14:30～16:00  
 講師：木下 俊則（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授）  
 会場：豊橋市自然史博物館

「どのようにして気孔が開くのか？」を調べることでより分かってきた気孔の大切な働きや面白い制御メカニズムを紹介しました。



## 「マイクロな世界が未来を変える」

日時：2020年12月6日（日）11:00～12:00  
 講師：桑原 真人（名古屋大学未来材料・システム研究所 准教授）  
 会場：豊橋市視聴覚教育センター

前半は最先端の時間分解電子顕微鏡の研究開発のレクチャー、後半は光学顕微鏡と電子顕微鏡でさまざまな資料を観察し両者の特徴を学びました。観察の合間に多くの参加者が講師に積極的に質問し、学びを得ていました。



## 「低温の世界と超電導」

日時：2020年12月13日（日）11:00～12:00  
 講師：飯田 和昌（名古屋大学大学院工学研究科 准教授）  
 会場：豊橋市視聴覚教育センター

低温の世界では金属の電気抵抗が小さくなることをレクチャーで学び、低温で電気抵抗がゼロになる超電導現象の動画を鑑賞しました。ロケット燃料や電子・電流に関するものまで、たくさんの質問が飛び交いました。





### 「ヒトの脳を知るために小さな生き物を研究するはなし」

2021年3月14日(日) 10:00～11:20

講師：森 郁恵 (名古屋大学大学院理学研究科 教授)

線虫を使って脳のはたらきを知る研究を紹介しました。最新研究の紹介はもちろん、米国留学して線虫の研究を始め、海外の研究者と交流しながら分野を開拓してきた歩みもお話いただき、研究に対する先生の情熱を感じる講義でした。



### 「日本発！世界にはばたく研究用生物メダカのはなし」

2021年3月14日(日) 14:00～15:20

講師：田中 実 (名古屋大学大学院理学研究科 教授)

研究室から中継しました。実験室でのメダカの採卵の様子や、事前収録のインジェクション動画も配信しました。日本人に馴染みの深いメダカが世界で研究用生物として重宝される理由や、最新の性研究まで、幅広く解説いただきました。



### 「がんはどうしてできるかのはなし」

2021年3月20日(土・祝) 10:00～11:20

講師：豊國 伸哉 (名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

がんの原因や発生のしくみについて、特に中皮腫を事例に紹介しました。実際の臓器の画像も多用され、病理学の現場を知ることができました。鉄の過剰摂取が有害であることなど身近なアドバイスもあり、参加者から多くの質問が集まりました。



# NAGOYA UNIV. OPEN LECTURE

今年のオープンレクチャーは、3日間（午前・午後）に分けて、6講座をオンラインで開催

対象：高校生・一般の方

方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

## 「量子をつかったコンピュータのはなし」

2021年3月20日（土・祝） 14:00～15:20

講師：藤巻 朗（名古屋大学大学院工学研究科 教授）、  
山下 太郎（名古屋大学大学院工学研究科 准教授）

世界一「速い」コンピュータの実現のため、古典コンピュータと量子コンピュータそれぞれの性能向上へ向けた最新研究を紹介しました。各種動画や超伝導実験、研究室の冷却装置のライブ紹介もあり、研究進展へのワクワク感を参加者と共有できる講義でした。



## 「結晶における原子の並び方のはなし」

2021年3月21日（日） 10:00～11:20

講師：松永 克志（名古屋大学大学院工学研究科 教授）

物質の性能を大きく左右する結晶の欠陥をなくし、より機能の高い材料を開発する研究について紹介しました。様々な試行錯誤から新しい発見があることなどが紹介され、材料研究には無限の可能性があることを実感しました。



## 「オーロラと宇宙のさえずりのはなし」

2021年3月21日（日） 14:00～15:20

講師：三好 由純（名古屋大学宇宙地球環境研究所 教授）

宇宙の天気とオーロラ発生の関係や、先生が科学責任者を務める「あらせ衛星」の開発や成果について、参加者への質問やクイズを散りばめながらお話ししました。宙（そら）をフィールドとした研究の壮大さと緻密さに感銘を受ける講義でした。



# 名大研究フロントライン

方法：オンライン（YouTubeにて録画配信）

名古屋大学で日々生み出される技術の種を、短い動画で世界に発信するYouTubeチャンネル「名大研究フロントライン」を開設しました。

[https://www.youtube.com/channel/UCkII3Gecp5H3gx1R2\\_h6YjA/](https://www.youtube.com/channel/UCkII3Gecp5H3gx1R2_h6YjA/)

## Vol.1 接木チップ / Micrografting chip

出演：野田口 理孝 准教授（名古屋大学生物機能利用開発研究センター / 生命農学研究科）

芽生えただけの植物の接木を簡単にするマイクロチップを紹介しました。熟練技術の要らない接木技術が普及すれば、ゲノム編集等を経ずに、今ある資源で、より良い品種開発や作物の増産が見込めます。古くて新しい接木技術が未来の食糧生産を変えるかも知れません。

（2020/06/02 公開）



## Vol.2 メダカの冬季うつ様行動を改善する薬 / Drug to rescue winter depression-like behaviors in medaka fish

出演：中山 友哉 特任助教、吉村 崇 教授（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所）、他

化学と遺伝学を融合したケミカルゲノミクスにより、メダカの冬季うつ様行動の改善につながる化合物を発見した研究を紹介しました。研究のさらなる継続によって、人間にも投与できる、新しいタイプのうつ病薬の開発につながることを期待します。

（2020/07/14 公開）



## Vol.3 深紫外半導体レーザー / Deep-ultraviolet laser diode

出演：久志本 真希 助教（名古屋大学大学院工学研究科電子工学専攻）

世界最短波長の半導体レーザー発振に成功した研究を紹介しました。波長の短い深紫外線領域の半導体レーザーは、殺菌などのヘルスケア分野、センシング分野、加工用光源などへの応用が期待されます。実用化に向けてさらなる研究が進められています。

（2020/07/31 公開）



## Vol.4 二酸化炭素回収技術の省エネ化 / Energy saving CO2 capture technology

出演：町田 洋 助教（名古屋大学大学院工学研究科 化学システム工学専攻）

工場等から排出される二酸化炭素の分離・回収は、地球温暖化を抑制するために重要なプロセスですが、それ自体に多大なエネルギーとコストを必要とします。そのプロセスの大幅な省エネ化に成功した研究を紹介しました。

（2020/08/11 公開）





## Vol.5 太陽フレアを正確に予測する物理モデル／ A physics-based model for accurately predicting solar flares

出演：草野 完也 教授（名古屋大学宇宙地球環境研究所総合解析研究部）

太陽フレアは、通信障害や大規模な停電など、私たちの生活に大きな影響を与えることがあります。その発生を、経験則ではなく、物理学モデルでの正確な予測に成功した研究を紹介しました。今後は日本の人工衛星「ひので」の観測データの活用等も計画されています。

（2020/08/31 公開）



## Vol.6 復興に備える—これからの減災対策のあり方—／ Thinking ahead: Economic recovery from disaster

出演：新井 伸夫 特任教授（名古屋大学減災連携研究センター強靱化共創部門）

災害の被害を減らすために事前に備える「減災」対策では、経済活動の復旧も重要です。特にライフラインの復旧や救援物資の物流には、道路の復旧が不可欠です。そこで、道路の優先順位を平常時から地域で意識合わせをしておく必要性和実際の活動について、紹介しました。

（2020/09/23 公開）



## Vol.7 かつてない速さで抗体をつくる～新型コロナウイルスとその先へ～／ Producing artificial antibodies faster than ever

出演：村上 裕 教授（名古屋大学大学院工学研究科生命分子工学専攻分子生命化学）

通常は数週間以上の時間を要する人工抗体の開発を、わずか数日で実現した研究を紹介しました。この人工抗体の迅速な創成法は、今後、変異型の新型コロナウイルスや新種ウイルスの治療薬開発や、病気のバイオマーカーなど、多方面への応用が期待されます。

（2020/11/16 公開）



# Tongali (とんがり) プロジェクト

Tongali: Tokai Network for Global Leading Innovators  
<https://tongali.net/>



## Tongali スクール 2020

日時：2020年9月10日より17回開催

会場：名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス (NIC) (School I・Ⅲ)  
 Zoom ウェビナーによるライブ配信 (School II)

急速に変化する社会の中で、アイデアや技術を駆使し、新たな未来をデザインすることにチャレンジする人材を育成するためのアントレプレナーシップ教育を体系的に学ぶ場を提供しました。

### School I <デザイン思考>

- 10月4日(日) 13:00-17:00
  - ・【Why?】デザイン思考概論
- 10月11日(日) 13:00-17:00
  - ・【Value】価値創造プロセス
- 10月18日(日) 13:00-17:00
  - ・【Creation】プロトタイプング
- 10月25日(日) 13:00-17:00
  - ・【Play】プレゼンテーション



### School II <T チャンセминаーシリーズ>

- 9月10日(木) 18:30-19:30
  - ・起業という人生の選択肢  
 ～楽しく仕事と人生を両立する方法～
- 9月24日(木) 18:30-19:30
  - ・スタートアップの知財戦略(入門編)  
 ～事業成長のための知財の活用と戦略法務～
- 10月8日(木) 18:30-19:30
  - ・起業家のリアル  
 ～大企業を経て20代で起業。創業から上場、EXITまでの経験を生々しく～
- 10月22日(木) 18:30-19:30
  - ・ベンチャーキャピタルについて理解してほしいこと「知彼知己者、百戦不殆」
- 11月12日(木) 18:30-19:30
  - ・新しいアイデアを次々に生み出せる技術
- 11月26日(木) 18:30-19:30
  - ・愛知県と名古屋市の「使える起業支援サービス」
- 12月10日(木) 18:30-19:30
  - ・名大発スタートアップ企業のしくじり起業談  
 ～認識しておくべき落とし穴とそれでも起業はやめられないという話～
- 1月14日(木) 18:30-19:30
  - ・テクノロジーで新しい水インフラを作る  
 ～東大発ベンチャー ポータブル水再生処理プラント～
- 1月28日(木) 18:30-19:30
  - ・スタートアップにおけるCFOの役割



Tongali (とんがり) プロジェクトは、この地域から積極的に事業化にチャレンジするリーダーを育成・輩出するための、学生、大学院生、卒業生を対象とするアントレプレナーシップ教育です。実際に起業経験を持つメンターから直接的な指導を受けられ、研究シーズ（アイデア創発）から起業（EXIT）までを、初歩から段階的に学べる体制を整えています。



### SchoolⅢ <アイデアの事業化>

11月21日（土）13:00-17:00

- ・理想のカスタマー・サービスの概念創り

12月12日（土）13:00-17:00

- ・顧客探索

1月9日（土）13:00-17:00

- ・新コンセプト創出

2月13日（土）13:00-17:00

- ・新ビジネスモデル創出



### ビジネスプランコンテスト 2020

日時：2020年10月10日（土）13:00-18:30

会場：ナゴヤ イノベーターズ ガレージ

※ 審査員および登壇者は対面実施、聴講者はオンライン配信

優れた技術やビジネスシーズ、アイデアを元とした起業プランを発表する場「ビジネスプランコンテスト」。Tongali 賞（優秀賞）受賞チームのビジネスプランは、5ヶ月をめぐりにメンターによるメンタリングとブラッシュアップを経て、確度の高いプランに仕上げられています。

予選会（9/26 開催）を通過した14チームが参加し、6名の識者による審査と一般聴講者による投票の結果、5チームに Tongali 賞を授与しました。また、10チームに協賛企業9社からサポーター賞が贈られました。

また、ICT分野のビジネスモデルを対象とした NICT 主催の起業家甲子園全国大会出場1チームの選出、及び大学の技術シーズを元にしたビジネスプランを対象とする NEDO 主催の TCP 支援プログラムに3チームが選出されました。



### アイデアピッチコンテスト 2020

日時：2020年11月15日（日）13:00-17:30

会場：なごのキャンパス コワーキングスペース HOME ROOM

※ 審査員は会場に参集、登壇者はオンライン参加、聴講者はオンライン配信

自らが温めているアイデアや解決したい課題などを発表し、実現を目指すマインドの醸成を目的とした「アイデアピッチコンテスト」を開催しました。Tongali 賞（優秀賞）を獲得したチームは、アイデア実現のサポートを受け、確度の高い事業計画に仕上げることを目指します。

予選会（10/31 開催）を通過した15チームが参加し、5名の有識者による審査と一般聴講者による投票の結果、5チームに Tongali 賞（優秀賞）を授与しました。また、8チームに協賛企業11社からサポーター賞が贈られました。

Tongali 賞を受賞したアイデアは、地元企業と共同開発したキャンプ製品、愛知県西尾市の抹茶を使った製品、旅のしおり作成サービス、オーディオブックの改良アイデア、研究室で育てたカサノリの活用案でした。この他にも多様なアイデアが披露され、審査員やオンラインで参加している視聴者を沸かせました。



<松坂屋小学校>

## キッズサイエンス@サカエ

～未来の科学者をはぐくむために～  
あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークと  
サカエ大学 Common-S. のコラボ企画

方法：オンライン（Zoom ミーティング）

主催：松坂屋名古屋店 / 協力：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部、  
あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク、サカエ大学 Common-S. 他

### 第7回「港防災センター 夏休みオンライン出前連携イベント～身近なものでサバイバル～」

2020年7月23日（木）11:00～11:45

講師：名古屋市港防災センター

協力：名古屋市港防災センター

チラシを材料に、災害時などに役立つ、丈夫なコップを作りました。災害への備えやクイズ、防災センターの紹介などもあり、防災について学び、体験できる良い機会となりました。



### 第8回「☆★いろいろ、色実験★★～いろいろな色で遊んじゃおう～」

2020年10月24日（土）14:00～14:45

講師：小長谷 遥香（蒲郡市生命の海科学館）

協力：蒲郡市生命の海科学館

コーヒーフィルターに水性ペンで模様をかくと水をつけると、ペンの色がにじんで、いろいろな色に分かれる様子を楽しみました。葉っぱなどで作った色水に重曹やお酢を入れて色が変わるかを確かめる実験も見せてくれました。



### 第9回「光のアートボックス」

2021年1月30日（土）14:00～14:45

講師：細井 理恵子（岐阜県先端科学技術体験センター サイエンスワールド）

協力：岐阜県先端科学技術体験センター サイエンスワールド

「物はなぜ見えるのか」についてや、色の三原色などの解説のあと、ミラーフィルムを使ったアートボックス作りを体験しました。申込者に事前に工作キットを郵送することで、満足度の高いイベントになりました。



### 第10回「あなただけのアクリルコースター！ ～ものづくりの現場とつながるぞ～」

2021年3月13日（土）10:30～11:15

講師：メイカーズ・ラボ とよはし × ものづくりチャレンジャーズ 神谷 喜穂 他

協力：株式会社サイエンス・クリエイト

豊橋のファブラボから中継を結び、参加者から事前に送られた絵をアクリルコースターに加工する様子を見ました。参加者とやりとりしながらものづくりの現場を楽しんでもらいました。完成したコースターは後日ご自宅に郵送しました。





# 国際産学連携セミナー、シンポジウム等 展示会への出展実績



国際産学連携セミナー（会場 or 方法）	開催日	内容
NUTech 第 11 回ラウンドテーブル (オンライン)	2020年 11月11日 (水)	・研究シーズセミナー テーマを「NextGen Platform Technology for Accelerated Drug Discovery」とし、RTP 内のみならず全米並びに日本国内、ヨーロッパからの参加者を募り、オンラインで開催した。今回は名古屋大学および名古屋大学発スタートアップ企業が研究・開発している、世界中の企業が注目している国際競争力の高い革新的な創薬プラットフォーム技術を発表した。

シンポジウム・セミナー等（会場 or 方法）	開催日	内容
第 1 回～第 5 回 名古屋大学 COI 連続ウェビナー 人がつながる“移動”イノベーション (オンライン)	2020年 9月15日 (火)	第 1 回「新しいヒューマンセントリックなモビリティを創造する」
	10月12日 (月)	第 2 回「持続可能な超高齢社会に向けて：健康寿命の延伸と移動システムづくり」
	12月22日 (火)	第 3 回「自動運転移動サービスの社会実装に向けた課題」
	2021年 1月14日 (木)	第 4 回「CASE 革命時の統合移動学」
	3月12日 (金)	第 5 回「モビリティサービスを取り巻く法規制と課題」

名古屋大学研究シーズ オンラインセミナー (オンライン)	2020年 10月6日 (火)	・研究シーズセミナー 「透明でやわらかい発電シート」松永 正広（名古屋大学未来材料・システム研究所 助教）、「植物の生育診断デバイス」野田口 理孝（名古屋大学生物機能開発利用研究センター 准教授）
	2021年 3月16日 (火)	・研究シーズセミナー 「ITbM分子が拓く可能性」佐藤 綾人（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所ケミカルライブラリーセンター 特任准教授）、「環状ペプチドライブラリーの構築と生理活性化中分子の探索」大石 俊輔（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所ペプチドプロテインセンター 特任助教） 主催：株式会社三井住友銀行 協力：名古屋大学

公開シンポジウム 「人間機械協奏技術とその人材育成を考える」 (オンライン)	2020年 12月22日 (火)	・「労働」と人間センシングの観点から人間機械協奏を考えるとともに、JST/OPERA 事業による周辺技術の人材育成と卓越大学院への発展について紹介した。
--	------------------	--

「FUTURE ライフスタイル社会共創拠点」社会課題共有フォーラム 第 1 回「FUTURE ライフスタイル実現に向けて ～地域の魅力づくり～」(オンライン)	2021年 3月11日 (木)	・居住地に関わらず充実した仕事・サービスが得られ、大きな生きがいを持つ FUTURE ライフスタイルの実現に向けて、地域の魅力を高めるには、何にどのように取り組めばよいか、産学官民で議論を行った。
---	-----------------	--

第 2 回「未来の医療・ヘルスケアの創出を実現する 産学官民による共創の場」 (ハイブリッド形式：オンライン & 会場 JP タワー名古屋)	3月13日 (土)	・居住地に関わらず充実した仕事・サービスが得られ、大きな生きがいを持つ FUTURE ライフスタイルの実現を視野に入れ、未来の医療・ヘルスケアを創出するには、何にどのように取り組めばよいか、産学官民で議論を行った。
--	-----------	---

## 国際産学連携セミナー、シンポジウム等 展示会への出展実績



展示会イベント名（会場or方法）	開催日	内 容
イノベーション・ジャパン 2020 大学見本市 Online (オンライン)	2020年 9月28日(月) ～11月30日(月)	・名古屋大学 COI の研究紹介（資料、動画など）
BioJapan2020 (パシフィコ横浜：神奈川県)	2020年 10月14日(水) ～10月16日(金)	・医学系研究科、創薬科学研究科、工学研究科、IT b M の教員の研究成果についてポスター展示・プレゼンテーション、企業との面談をおこなった。
産 X 学連携（クリーンテック）技術展 (オンライン)	2021年 2月25日(木) ～2月26日(金)	・「各種システムから排出される廃熱を利用した熱電発電のための研究開発」伊藤 孝至（名古屋大学大学院工学研究科 准教授）、 「金属錯体触媒を用いるカルボン酸の水素化」斎藤 進（名古屋大学大学院理学研究科 教授）  脱炭素社会の実現を目指して、イノベーションを起こす 20 の技術を集結。モノづくり企業、大学等研究機関などが一堂に会し、環境への負担を低減する技術（クリーンテック）を紹介した。





## 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 NIC 3F 311  
Tel:052-747-6527 Fax:052-788-6002 E-mail:outreach@aip.nagoya-u.ac.jp  
<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/>

